

業務状況説明書

(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)



富士見市下水道事業

1 令和7年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

前年同期と比較し、調定件数は1,909件の増加、有収水量は17,685m³の減少となっております。また、処理水量は193,851m³、1日平均処理水量は1,059m³の減少となっております。

年 度 区 分	令和7年度 上半期	令和6年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
調 定 件 数 (件)	165,079	163,170	1,909	1.17
有 収 水 量 (m ³)	5,215,596	5,233,281	△17,685	△0.34
処 理 水 量 (m ³)	6,404,438	6,598,289	△193,851	△2.94
1日平均処理水量 (m ³)	34,997	36,056	△1,059	

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、管渠修繕工事（大字勝瀬地内外）、管渠更生工事（ふじみ野東1丁目地内外）、汚水管渠築造工事（上沢1丁目地内）のほか、出口ポンプ場（大字鶴馬地内）において、汚水水中ポンプや制御盤等を更新する工事を実施しています。雨水事業につきましては、桜井雨水ポンプ場（大字水子地内外）において、ポンプや制御盤等を更新する工事を実施しています。

特定環境保全公共下水道事業につきましては、舗装本復旧工事（大字水子地内）、人孔蓋取替工事（大字上南畠地内）のほか、汚水管渠築造工事（大字水子地内）等を実施しています。

(2) 経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,906,237	1,001,086	52.52%	事業費	1,863,656	393,892	21.14%
営業収益	1,410,556	897,587	63.63%	営業費用	1,775,300	356,580	20.09%
営業外収益	495,680	103,137	20.81%	営業外費用	87,306	37,279	42.70%
特別利益	1	362	36.25.60%	特別損失	550	33	5.91%
				予備費	500	0	0.00%

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,111,742	41,110	3.70%	資本的支出	1,713,665	1,030,751	60.15%
企業債	1,037,400	0	0.00%	建設改良費	1,223,192	796,102	65.08%
国庫(県)補助金	32,500	0	0.00%	企業債償還金	489,473	234,649	47.94%
負担金	41,842	41,110	98.25%	予備費	1,000	0	0.00%

2 令和6年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	令和6年度	令和5年度	比 較	
			増 減	比 率
現在処理区域内人口(A)	112,288 人	112,110 人	178 人	100.16 %
行政区域内人口(B)	113,455 人	113,335 人	120 人	100.11 %
普及率(A)/(B)	99.00 %	98.92 %	0.08	—
水洗便所化人口(C)	111,203 人	111,109 人	94 人	100.08 %
水洗便所済戸数	56,677 戸	56,625 戸	52 戸	100.09 %
水洗化率(C)/(A)	99.03 %	99.11 %	△0.08	—
年間処理水量	12,632,931 m ³	11,729,079 m ³	903,852 m ³	107.71 %
1日平均処理水量	34,611 m ³	32,047 m ³	2,564 m ³	108.00 %
年間有収水量	10,479,707 m ³	10,468,956 m ³	10,751 m ³	100.10 %

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、管渠更生工事を単独事業として707.5m、管渠布設替工事を単独事業として15.1m、管渠築造工事としましては、柳瀬第9処理分区(大字水子地内)を単独事業として33.6m実施しております。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第12-2-2処理分区(大字鶴馬地内)及び新河岸第16-1-1処理分区(大字水子地内)を単独事業として367m管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、浸水被害軽減や施設の延命化等を目的に別所雨水ポンプ場更新工事等を引き続き進めてまいりました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

事業収益が 1,731,777,974 円（税込金額 1,826,147,182 円）で前年度対比 1.5% の増となり、事業費用では 1,593,796,017 円（税込金額 1,649,341,995 円）で前年度対比 6.8% の増となりました。この結果、137,981,957 円の純利益となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は 831,103,329 円（税込金額 831,317,864 円）で支出が 1,477,852,836 円（税込金額 1,565,044,055 円）となりました。なお、資本的収入が資本的支出に不足する額 733,726,191 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 63,868,722 円、過年度分損益勘定留保資金 469,857,469 円及び減債積立金 200,000,000 円で補填しました。

収益的収入及び支出（税抜）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決算額	構成比	科 目	決算額	構成比
事業収益	1,845,288,310	100.00%	事業費	1,643,437,631	100.00%
営業収益	1,387,187,160	75.17%	営業費用	1,571,807,575	95.64%
営業外収益	456,135,362	24.72%	営業外費用	71,337,385	4.34%
特別利益	1,965,788	0.11%	特別損失	292,671	0.02%

資本的収入及び支出（税込）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決算額	構成比	科 目	決算額	構成比
資本的収入	831,317,864	100.00%	資本的支出	1,565,044,055	100.00%
企業債	570,000,000	68.57%	建設改良費	1,031,410,291	65.90%
国庫（県）補助金	217,444,000	26.15%	企業債償還金	533,633,764	34.10%
負担金	43,873,864	5.28%			